

【メモ】

# 再犯防止シンポジウム2019 依存症からの回復

手をとりあって  
手をさしのべて



日時 2019年7月13日(土)14:00~17:00

場所 全社協・灘尾ホール(新霞が関ビル内)

東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル

Twitterでも情報発信をしています！

- 法務省 @MOJ\_HOUMU
- 法務省保護局 @MOJ\_HOGO

 法務省  
MINISTRY OF JUSTICE

主催：法務省（「再犯防止啓発月間」関連行事） 後援：警察庁、文部科学省、厚生労働省

# 再犯防止シンポジウム2019

## 依存症からの回復

|       |   |
|-------|---|
| 14:00 | <p><b>開会のご挨拶</b><br/>法務省大臣官房政策立案総括審議官 西山 卓爾</p>   |
| 14:05 | <p><b>講演</b><br/>「依存症家族の現実 ～再犯防止のために何ができるか～」<br/>おおたわ 史絵 様 (総合内科専門医)</p>  |
| 14:30 | <p><b>講演</b><br/>「依存症からの“回復”とは？」<br/>成瀬 暢也 様 (埼玉県立精神医療センター副病院長)</p>   |
|       | <p><b>休憩</b><br/>ロビーに設置した各種広報ブースもぜひご覧ください</p>   |
| 15:10 | <p><b>パネルディスカッション</b><br/>「依存症からの“回復”を支えるために」</p> <p>コーディネーター<br/>近藤 あゆみ 様 (国立精神・神経医療研究センター<br/>精神保健研究所薬物依存研究部診断治療開発研究室長)</p> <p>パネリスト<br/>大嶋 栄子 様 (NPO 法人リカバリー代表)<br/>加藤 隆 様 (八王子ダルク代表理事)<br/>古藤 吾郎 様 (日本薬物政策アドボカシーネットワーク事務局長)<br/>大橋 哲 (法務省大臣官房審議官 (矯正局担当))</p> <p>コメンテーター<br/>成瀬 暢也 様 (埼玉県立精神医療センター副病院長)</p> |
| 16:50 | <p><b>法務省からのお知らせ</b></p>  |
| 16:55 | <p><b>閉会のご挨拶</b><br/>法務省大臣官房秘書課企画再犯防止推進室長 吉田 雅之</p>   |
| 17:00 |   |

## 講師・パネリストご紹介

### 講演



#### 依存症家族の現実 ～再犯防止のために何ができるか～

**おおたわ 史絵** / 総合内科専門医。通常の診療のほか、刑務所でも診療に当たる。自身も依存症者の家族であった経験を持つ。「情報ライブ ミヤネ屋」(日テレ系)ほか、メディア出演多数。



#### 依存症からの“回復”とは？

**成瀬 暢也** / 精神科医。埼玉県立精神医療センター副病院長。日本では数少ない依存症治療の専門医。著書に「アルコール依存症治療革命」(中外医学社)、「薬物依存症の回復支援ハンドブック—援助者、家族、当事者への手引き」など。

### パネルディスカッション

#### 依存症からの“回復”を支えるために



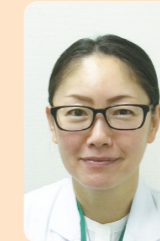
**大嶋 栄子** / NPO 法人リカバリー代表。様々な被害体験を持つ女性支援に携わる。著書に「嵐」のあとを生きる人たち「それいゆ」の15年が映し出すもの(かりん舎)など。



**古藤 吾郎** / ソーシャルワーカー。日本薬物政策アドボカシーネットワーク事務局長。諸外国における依存症対策の動向に精通。共著書に「ハームリダクションとは何か」(中外医学社)。



**加藤 隆** / 元薬物依存症当事者。特定非営利活動法人八王子ダルクの代表理事として、薬物依存症からの回復を目指す人たちの支援に携わる。



**近藤 あゆみ** / 精神保健福祉士。国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部診断治療開発研究室長。薬物依存症者を持つ家族に対する支援を専門とする。

**成瀬 暢也** / 埼玉県立精神医療センター  
**大橋 哲** / 法務省矯正局

法務省では、再犯防止対策に取り組んでいます

再犯防止についてもっと詳しく知りたい方はこちら

